

(別 添)

1. 構造名

金属板・硬質木片セメント板・フェノールフォーム保温板/軽量鉄骨造屋根

2. 形状及び寸法等

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
屋根寸法	・幅 910 以上 ・長さ 303 以上 ・厚さ 139 以上
母屋間隔	2000 以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材 (たる木)	一般構造用軽量形鋼 ・規 格 JIS G 3350 ・断面形状 □-100×50×20×2.3 の断面寸法以上 (野地板の目地部は 2 本使用) ・間 隔 606 以下
②屋根葺材	金属板 1) ~14) のうち、いずれか一仕様とする 1) 溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・厚 さ 0.4 以上 2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1) ~f) のうち、いずれか一仕様とする イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 フ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m ² 以下

(別添-1)

項 目	申 請 構 造
②屋根葺材 (つづき)	<p>3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3317 ・厚 さ 0.4 以上 <p>4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>5) 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3321 ・厚 さ 0.4 以上 <p>6) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>7) 熱間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304 ・厚 さ 0.4 以上 <p>8) 冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4305 ・厚 さ 0.4 以上 <p>9) 塗装ステンレス鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8316～NM-8326)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下

項 目	申 請 構 造
②屋根葺材 (つづき)	<p>10) 伸銅材 (国土交通大臣認定 : NM-8586~NM-8595)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>11) チタン展伸材 (国土交通大臣認定 : NM-8596)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>12) カラーアルミ (国土交通大臣認定 : NM-8597 又は NM-8598)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)~f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アクリル系樹脂塗装 2) ポリエステル系樹脂塗装 3) シリコン系樹脂塗装 4) アミノ・アルキド系樹脂塗装 5) 塩化ビニル系樹脂塗装 6) フッ素系樹脂塗装 7) エポキシ系樹脂塗装 8) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>13) アルミニウム (平成 12 年建設省告示第 1400 号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>14) 無機質断熱材裏張・金属板 (国土交通大臣認定 : NM-8673)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏 張 材 1)~c)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) せっこうフォームシート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 2) ガラス繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 3) ロックウールフェルト <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 4.0 以上 4) セラミック繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 5.0 以上 ・金 属 板 1)~h)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3302 2) 電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3313 3) 溶融アルミニウムめっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3314 4) ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304、4305、4312 5) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 6) 塗装ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3320 ・金属板厚 0.35 以上 ・接 着 剤 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) クロロプレンゴム系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m² 以下 2) アイオノマー系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m² 以下

項 目	申 請 構 造
③木棧	木材 ・寸法 15以上×21以上
④野地板	[1] 硬質木片セメント板 ・規 格 JIS A 5404 ・厚 さ 18±2以上 ・寸 法 910±0.5×1820±0.5 [2] フェノールフォーム保温板 (1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1) フェノールフォーム保温板 ・規 格 JIS A 9511 ・組 成(質量%) フェノール樹脂 100 炭 化 水 素 2～7(外割) ・面 材 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエステル系不織布(20～40g/m ²) 2) ポリプロピレン系不織布(20～40g/m ²) 3) ポリエチレン系加工紙(20～40g/m ²) ・規 格 JIS Z 1514 4) アルミニウムはく ・規 格 JIS Z 1520 5) 不燃性の加工紙 (4) 4) 酸マグネシウム紙 ガラス繊維紙 アルミニウム ガラス繊維複合紙 ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³ (2) 両面無機質混沙紙張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-9699) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³ (3) 両面パルプ・ガラス繊維混入けい酸マグネシウム混沙紙張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0021) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³ (4) 両面エポキシ樹脂系塗装アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0054) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³ (5) 両面アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0055) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³ (6) フェノールフォーム充てん/両面ポリエステル不織布裏張・エポキシ樹脂系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定:NM-0315) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅1000以下 長さ2000以下 ・密 度 27±3～40±5kg/m ³

項 目	申 請 構 造
④野地板(つづき)	<p>(7) 両面アルミニウムはく・ガラスクロス張/両面ガラス繊維不織布張 /フェノール樹脂発泡板(国土交通大臣認定:NM-0191)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 20~75 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(8) フェノールフォーム充てん/両面ポリエステルアルミニウム不織布裏 張・エポキシ系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定: NM-0636)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12~66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(9) フェノールフォーム保温板充てん/両面エポキシ系樹脂塗装アルミニウム合金はく (国土交通大臣認定:NM-3815)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ $19.76_{\pm 2} \sim 66_{\pm 7}$ ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>[3] 接着剤</p> <p>(1) ~ (4) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 変成シリコン系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 200g/m²以下 <p>(2) エポキシ系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 200g/m²以下 <p>(3) 酢酸ビニル系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 200g/m²以下 <p>(4) 合成ゴムラテックス系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 200g/m²以下

2) 副構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
①留付ねじ	<p>[1] 野地板用</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1122 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(2) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1125 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(3) リーマ付ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(4) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>[2] 屋根葺材用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1115 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下 <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下
②防水紙	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アスファルトルーフィング 940</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 <p>(2) アスファルトフェルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430～650g/m² 以下
③たる木取付け金物	<p>一般構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 ・寸法 L-75\times75\times6 の断面寸法以上 ・寸法 FB-6\times75\times75 の断面寸法以上(たる木ダブル部位仕様)

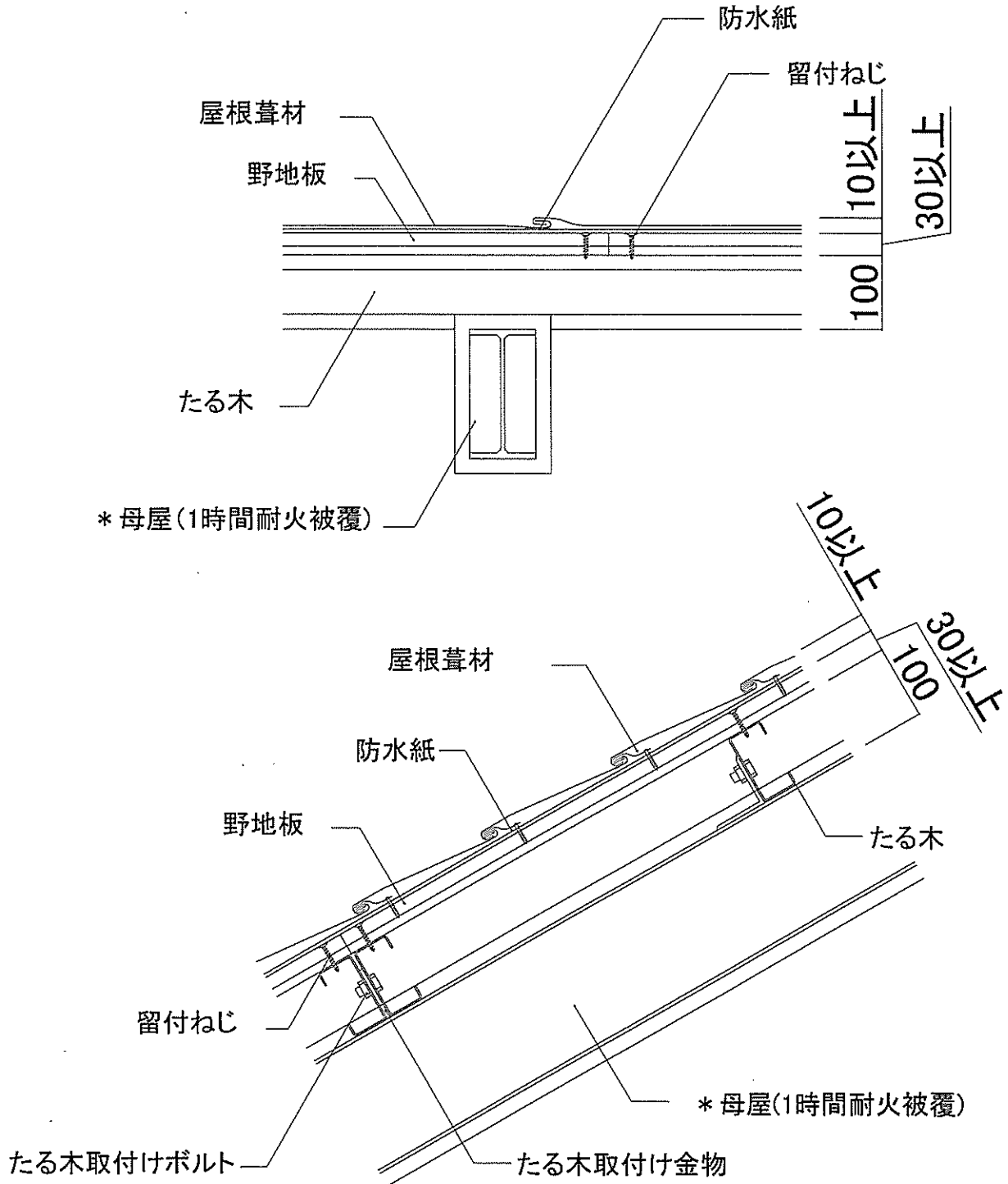
(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
④たる木取付けボルト	・規格 JIS B 1180 ・寸法 M12 以上× ϕ 25 以上
⑤金属板の葺き方	(1)～(8)のうち、いずれか一仕様とする (1) 平葺 ・金属板の形状 別添-22 参照 (2) たて平葺 ・金属板の形状 別添-22 参照 (3) かわら棒葺 ・金属板の形状 別添-22 参照 (4) 段葺 ・金属板の形状 別添-22 参照 (5) 横葺 ・金属板の形状 別添-23 参照 (6) 金属がわら葺 ・金属板の形状 別添-23 参照 (7) 平滑葺 ・金属板の形状 別添-23 参照 (8) なし

4. 構造説明図

金属板の場合 (平葺)

(寸法単位: mm)

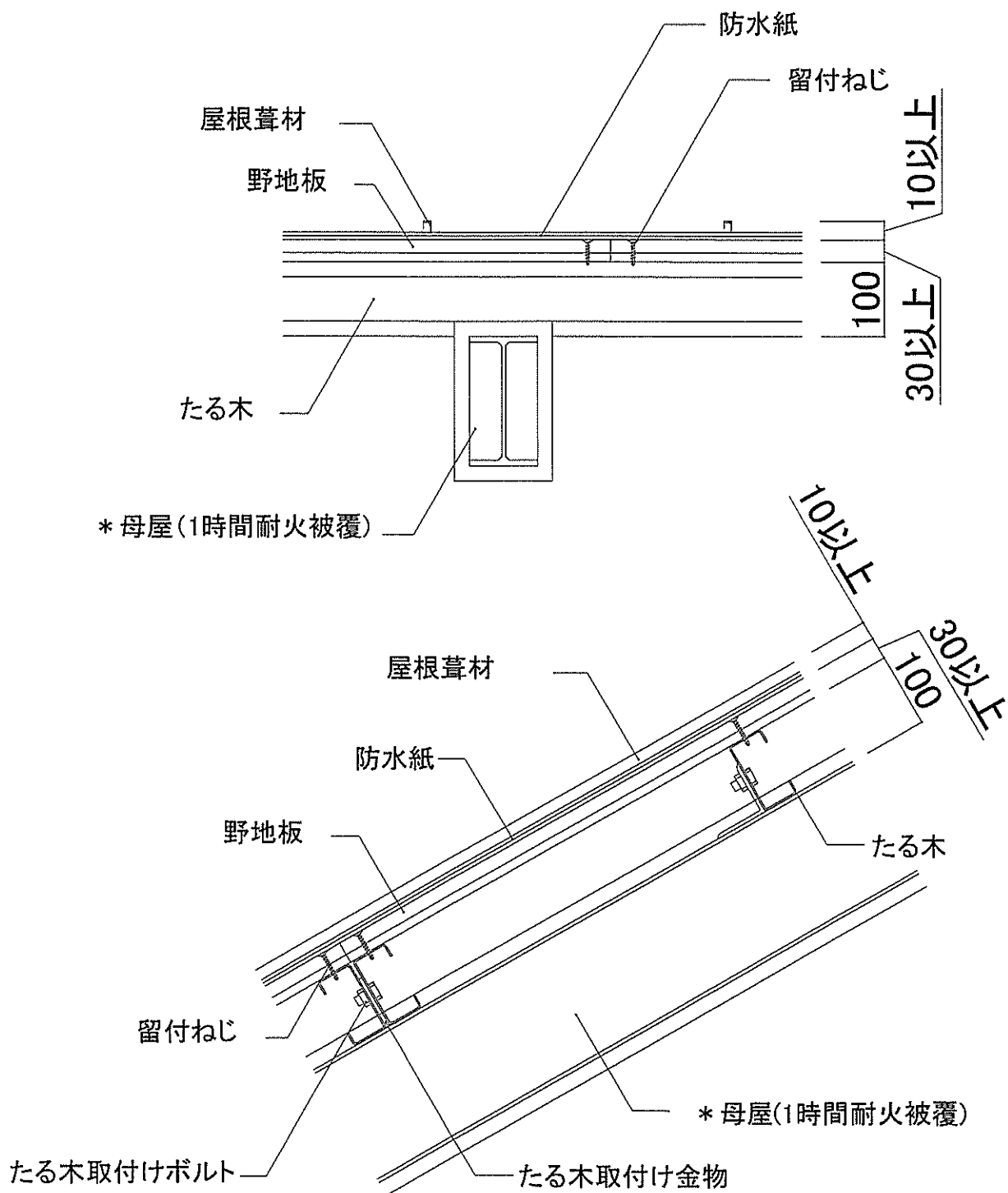


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (たて平葺)

(寸法単位：mm)

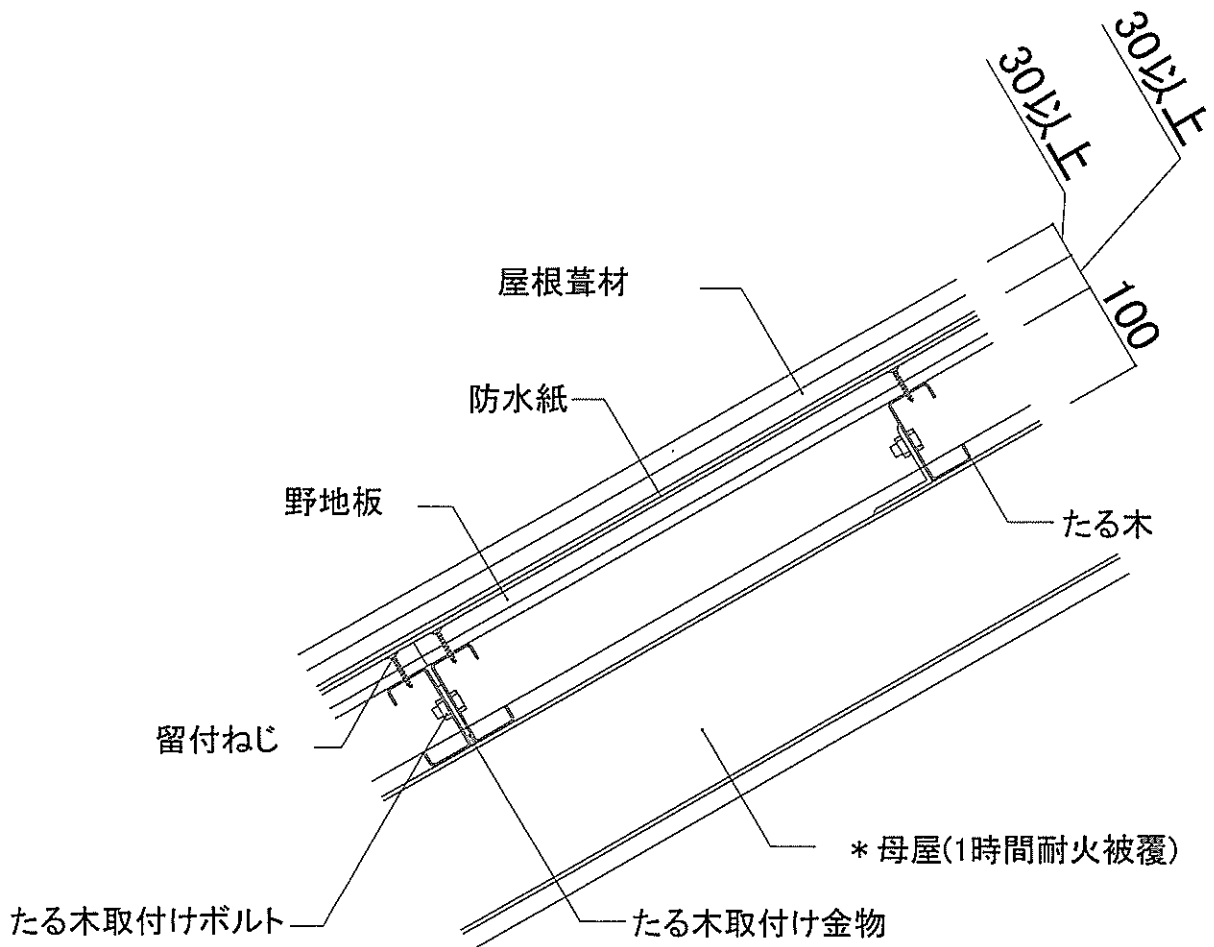
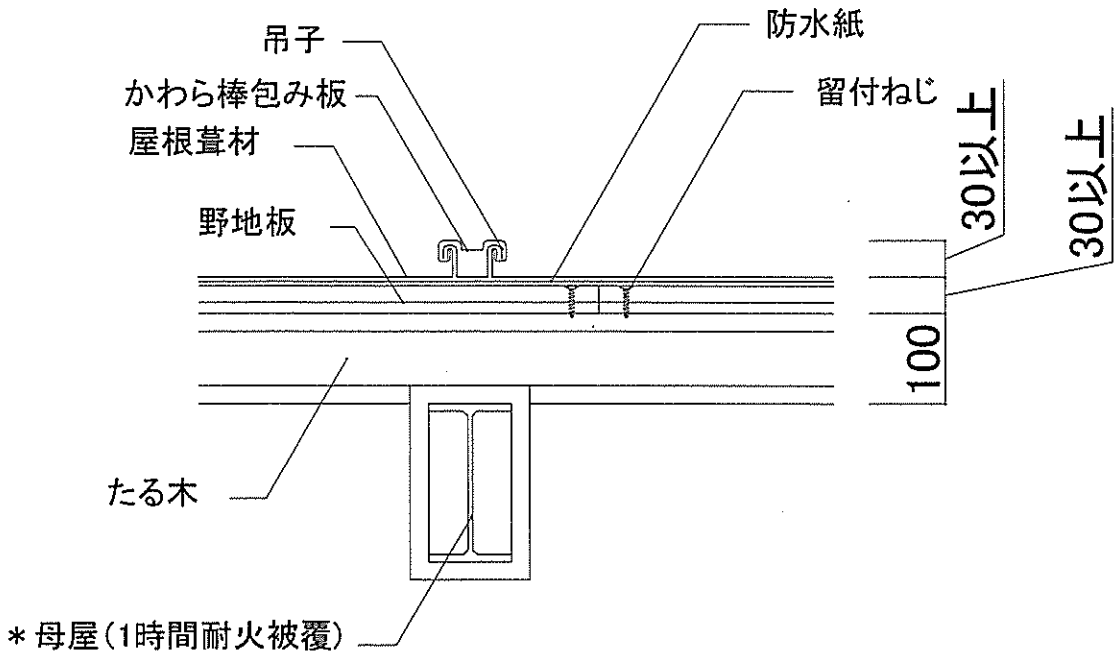


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* :本評価内容に含まない

金属板の場合 (かわら棒葺)

(寸法単位: mm)

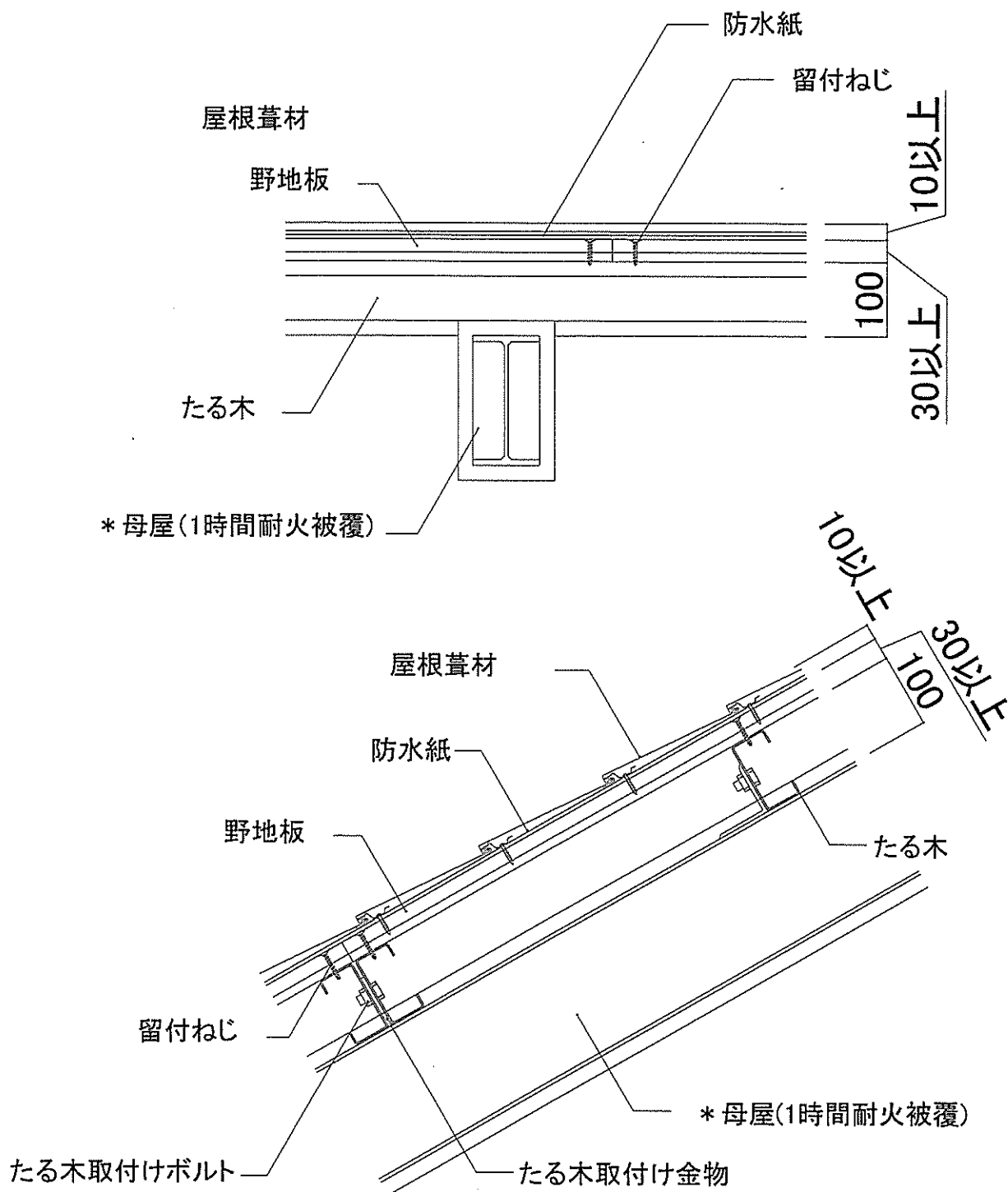


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (段葺)

(寸法単位：mm)

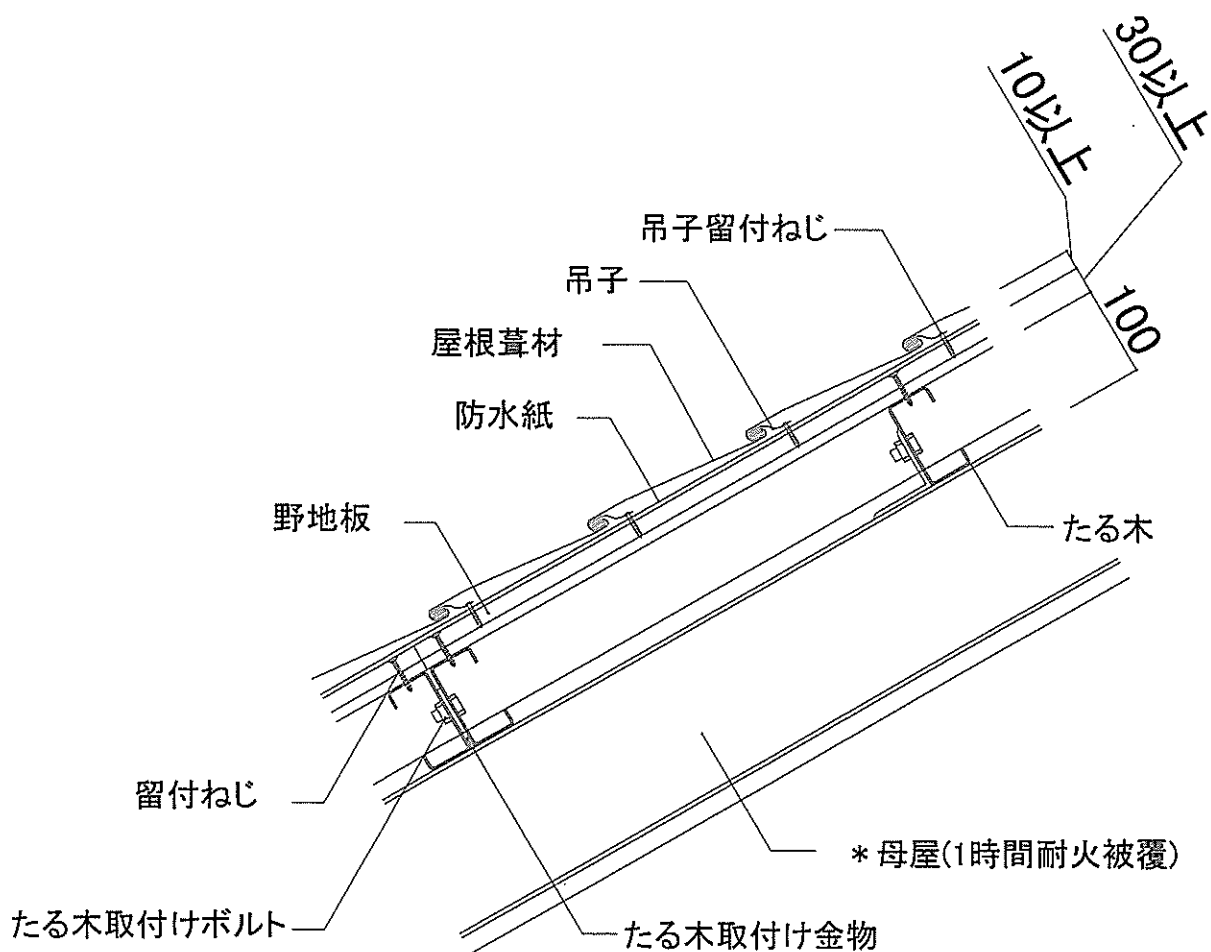
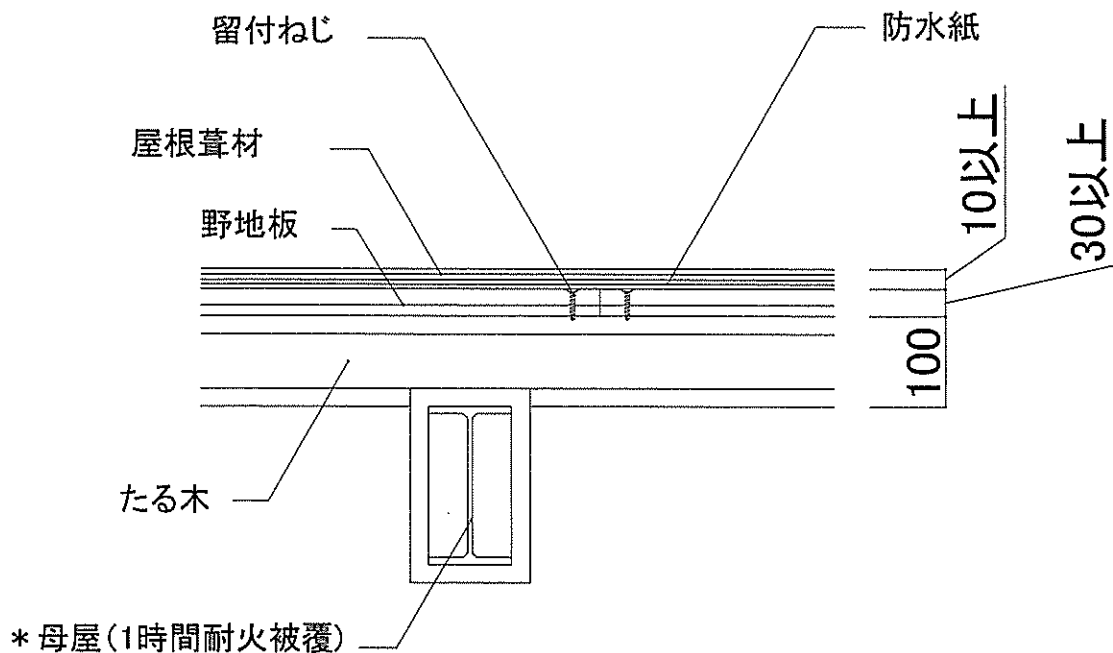


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (横葺)

(寸法単位: mm)

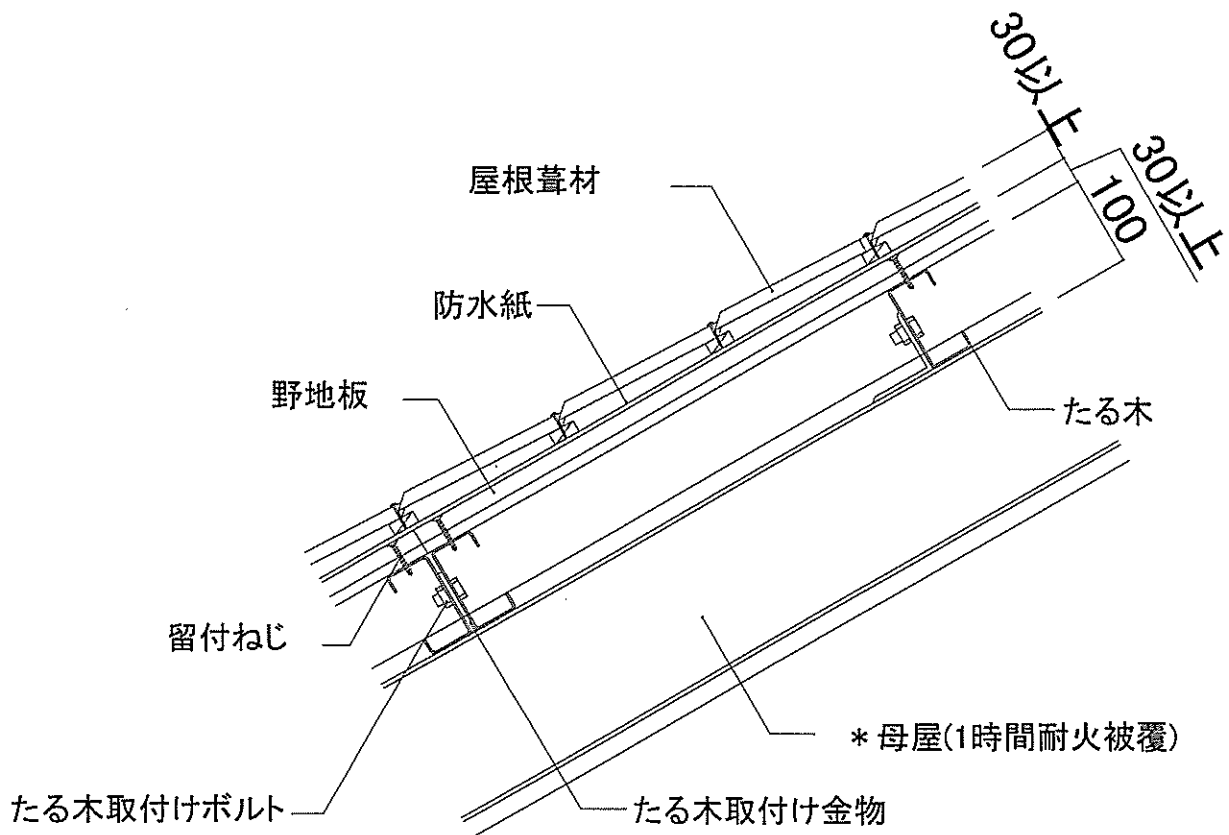
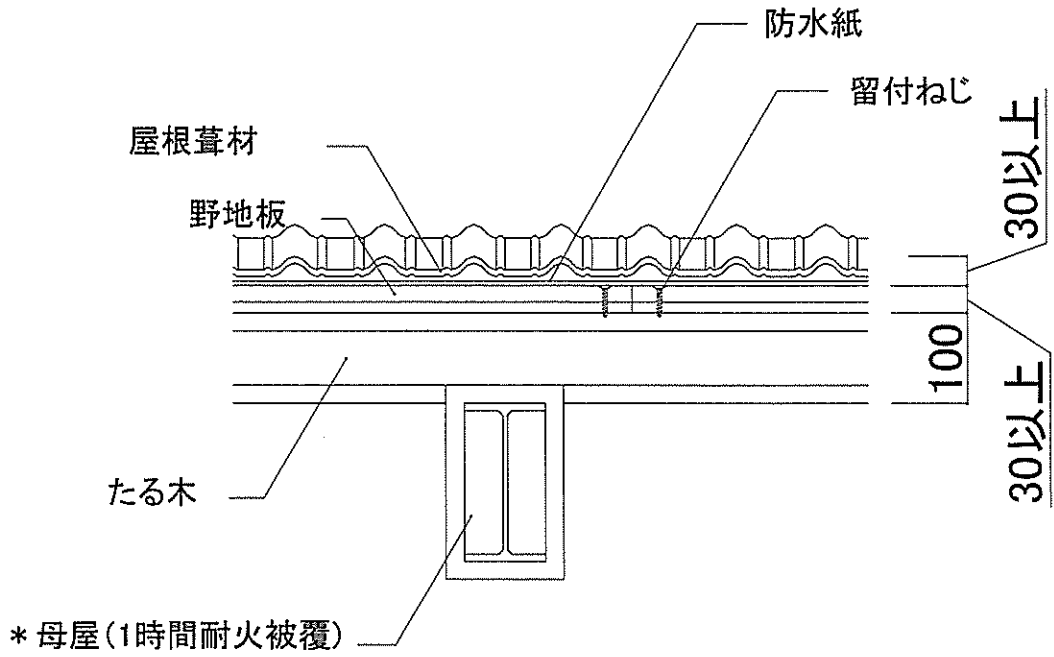


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (金属がわら葺)

(寸法単位: mm)

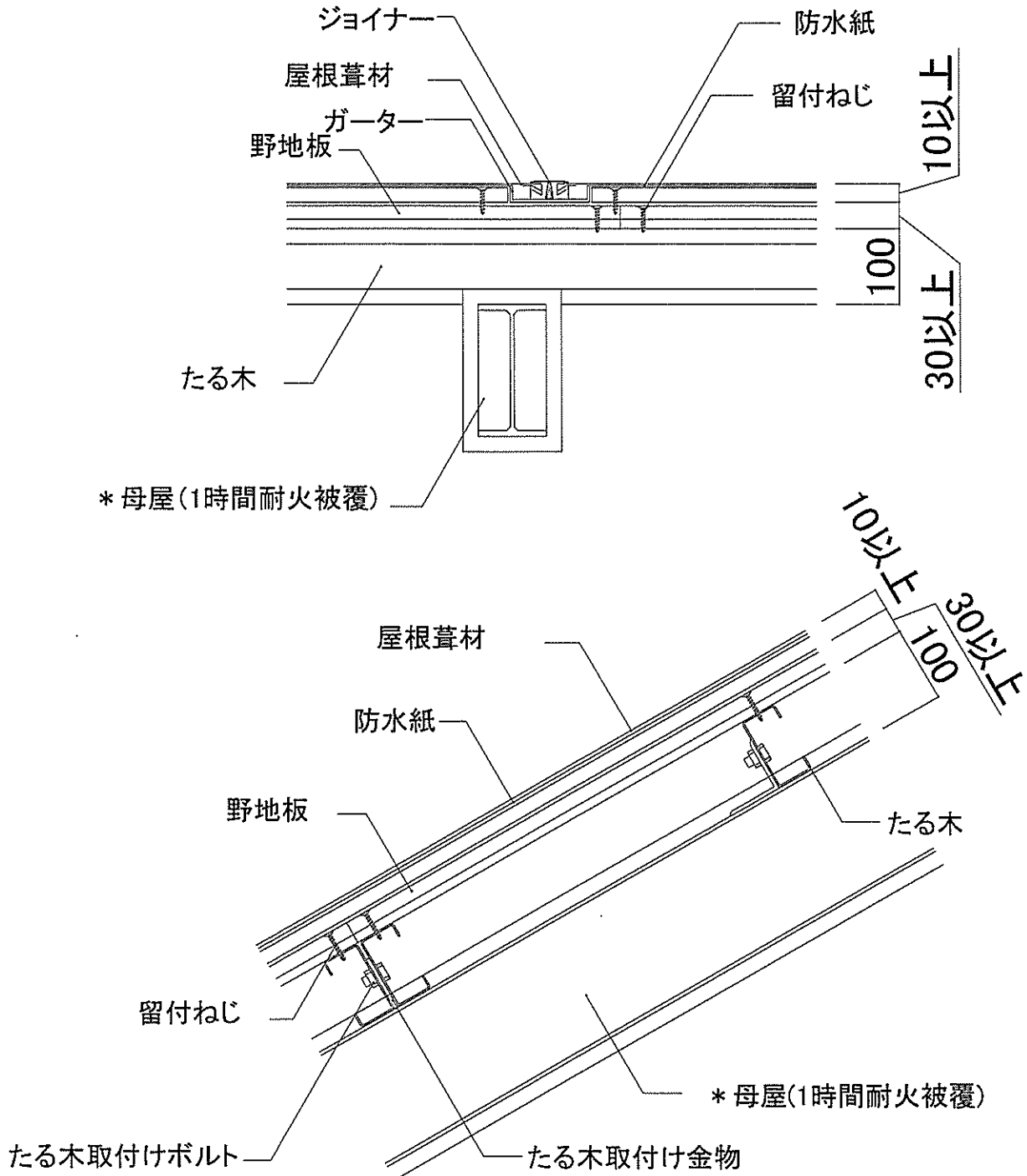


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (平滑葺)

(寸法単位: mm)



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

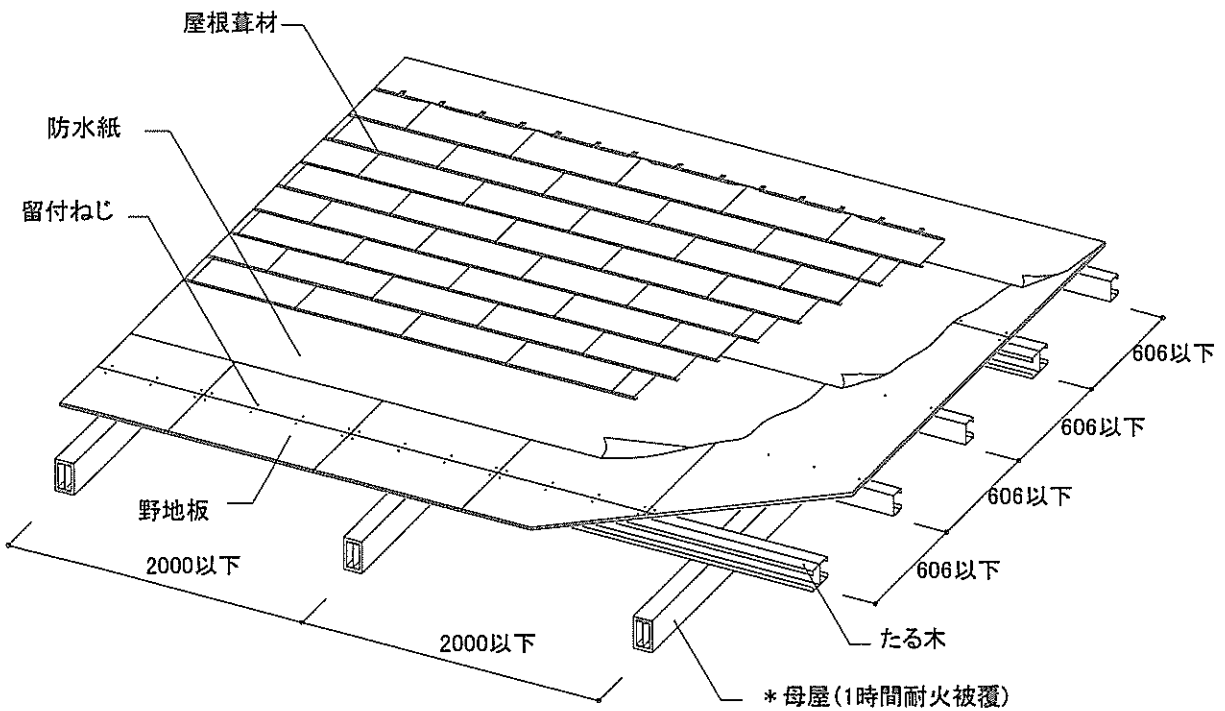
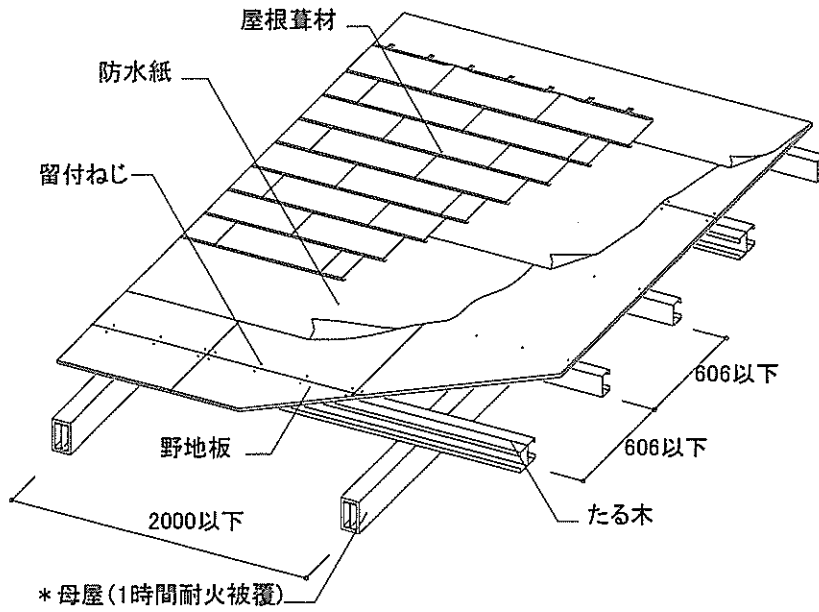
*: 本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

金属板の場合 (平葺)

(寸法単位: mm)

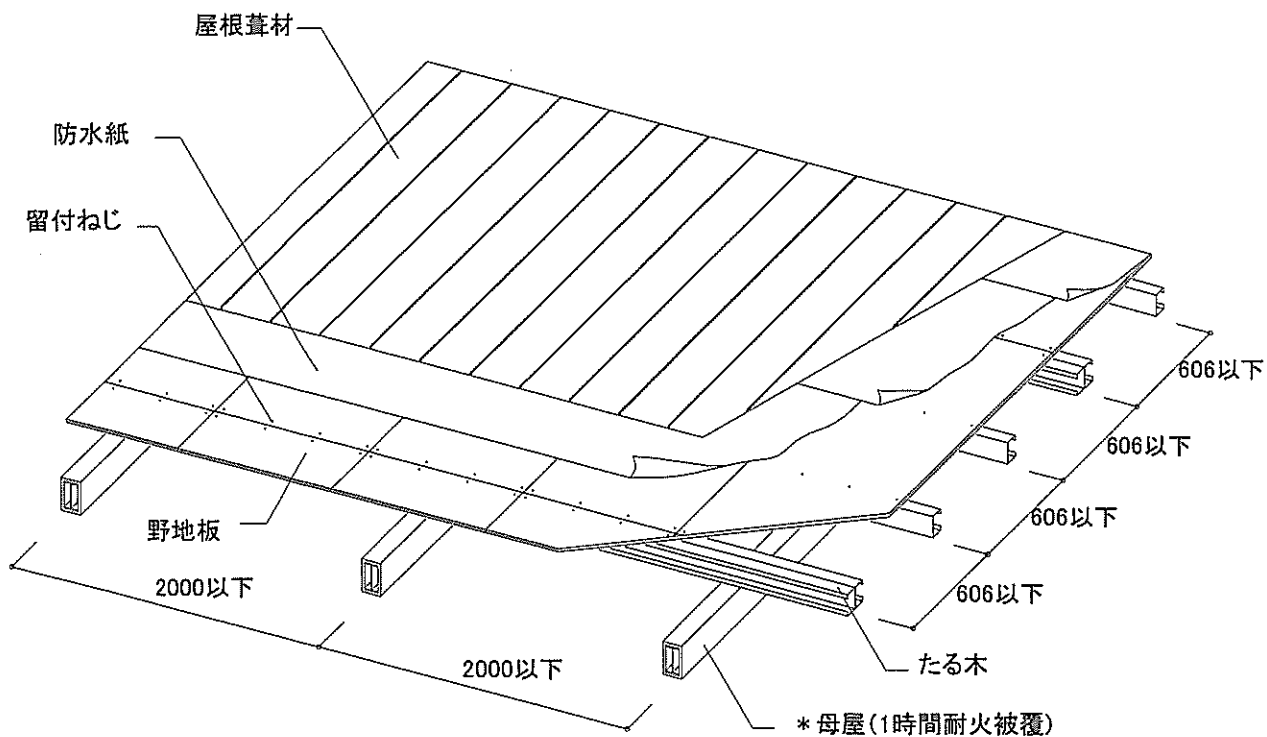
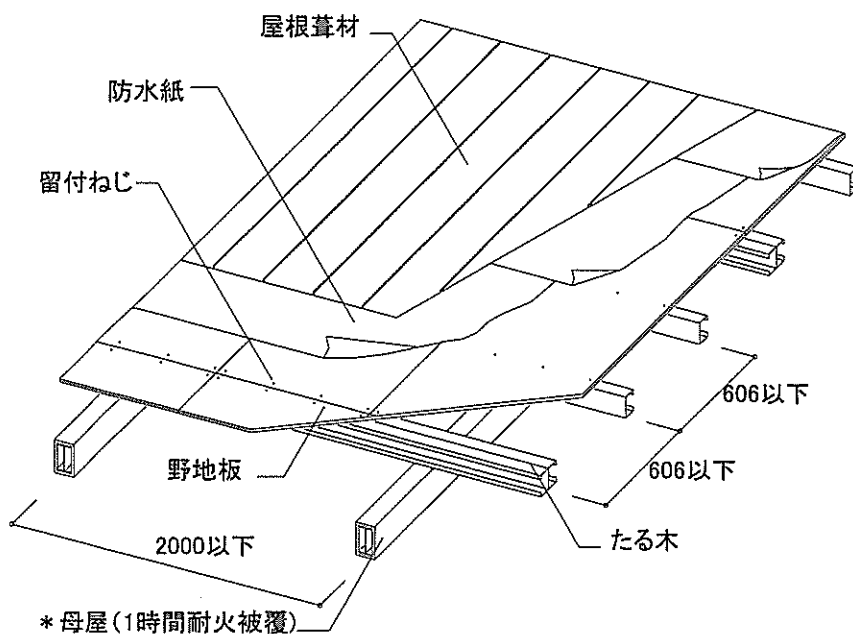


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*:本評価内容に含まない

金属板の場合 (たて平葺)

(寸法単位：mm)

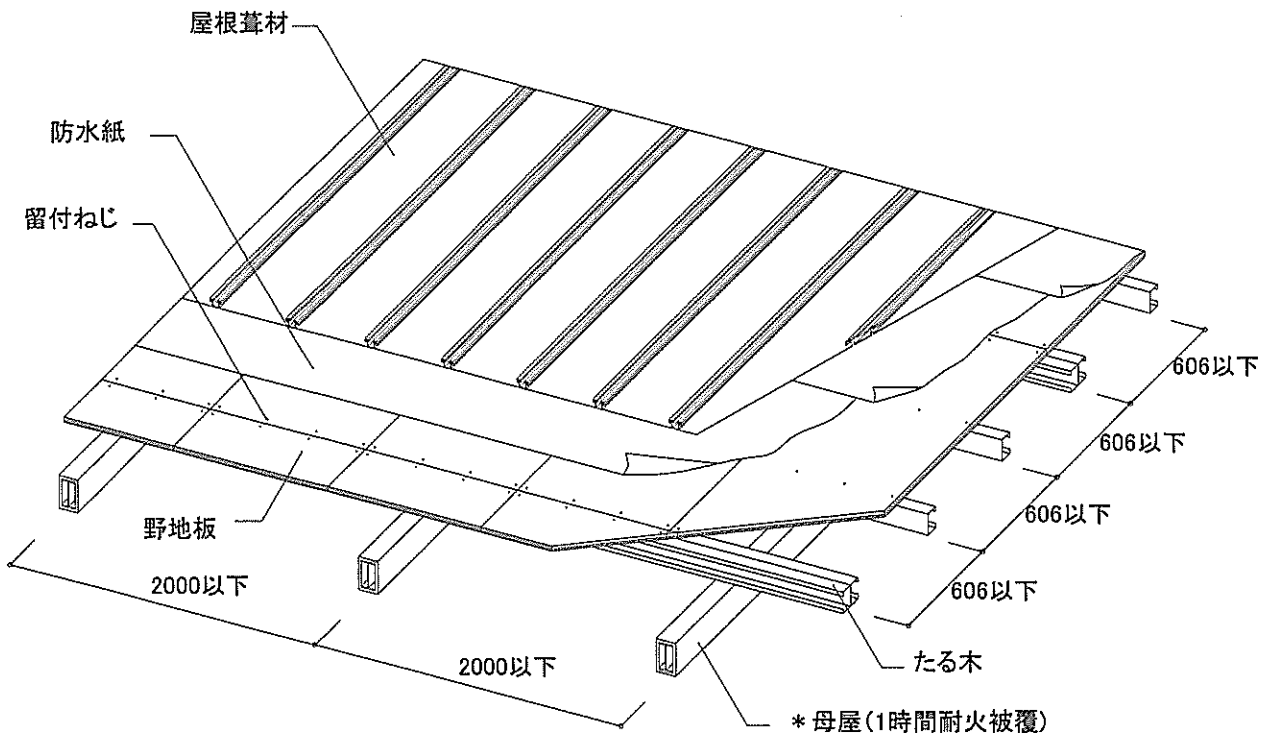
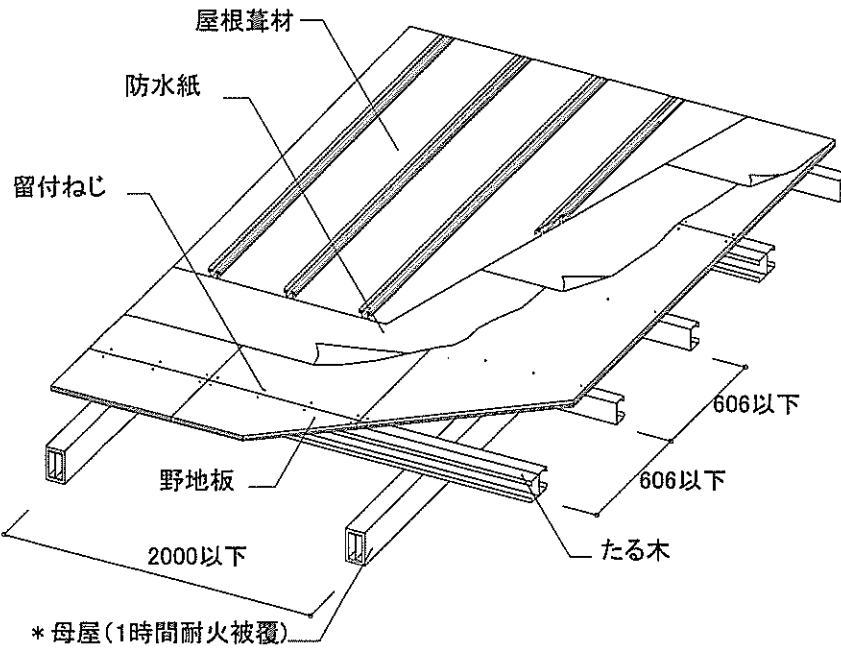


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* :本評価内容に含まない

金属板の場合 (かわら棒葺)

(寸法単位: mm)

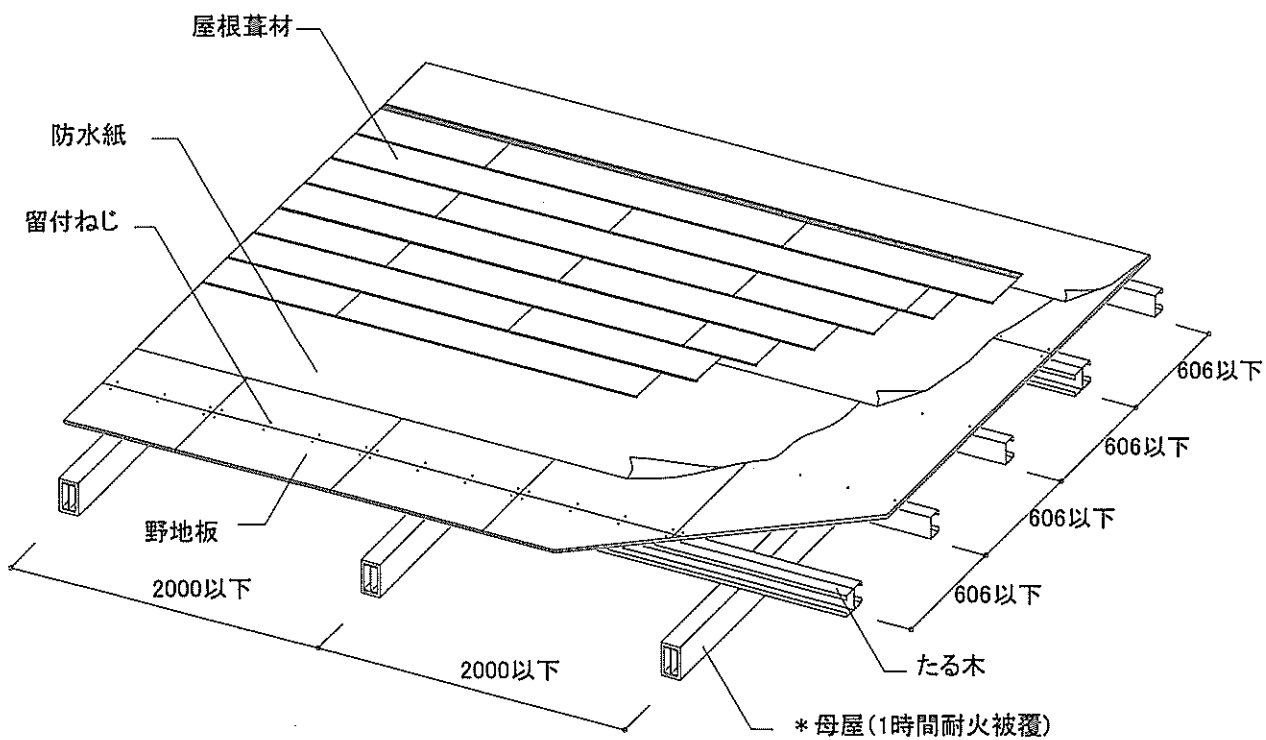
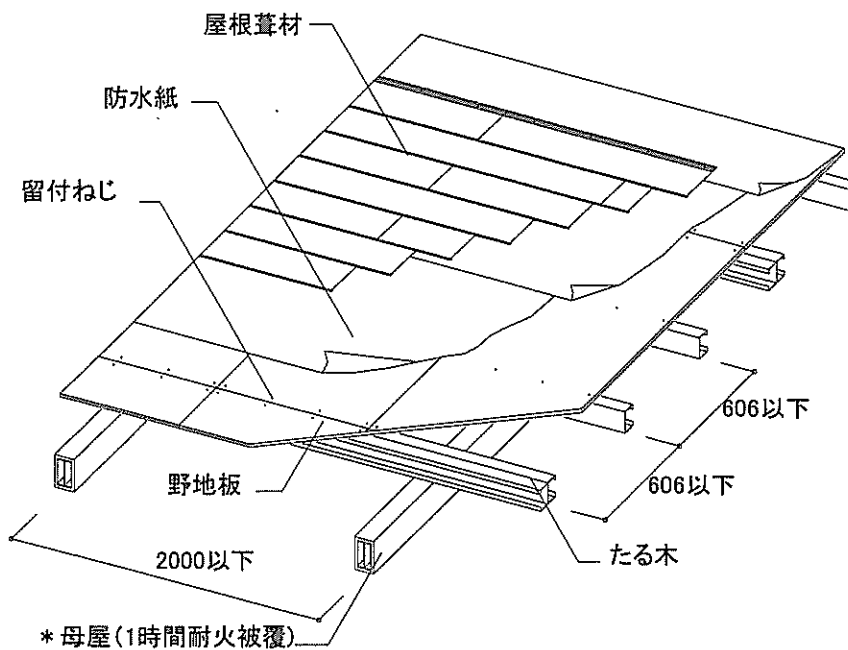


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (段葺)

(寸法単位：mm)

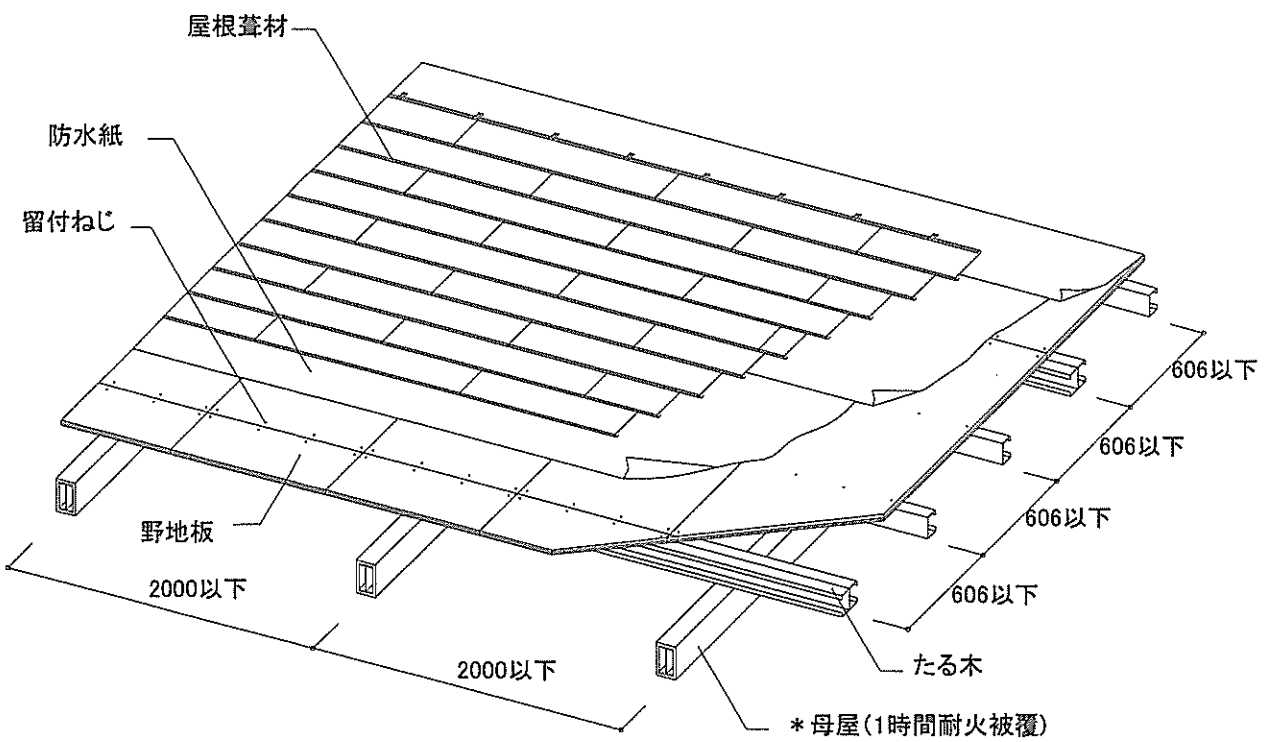
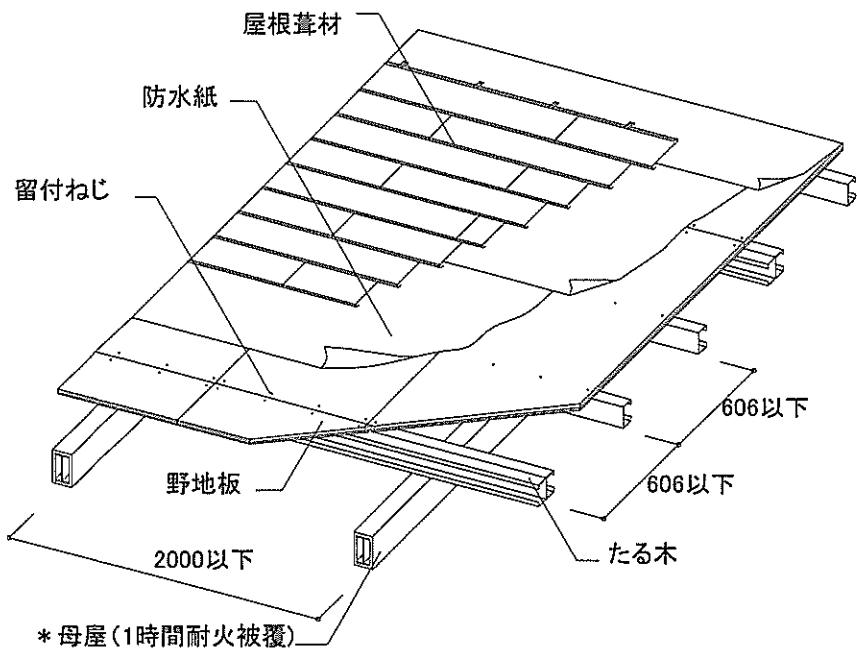


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* :本評価内容に含まない

金属板の場合 (横葺)

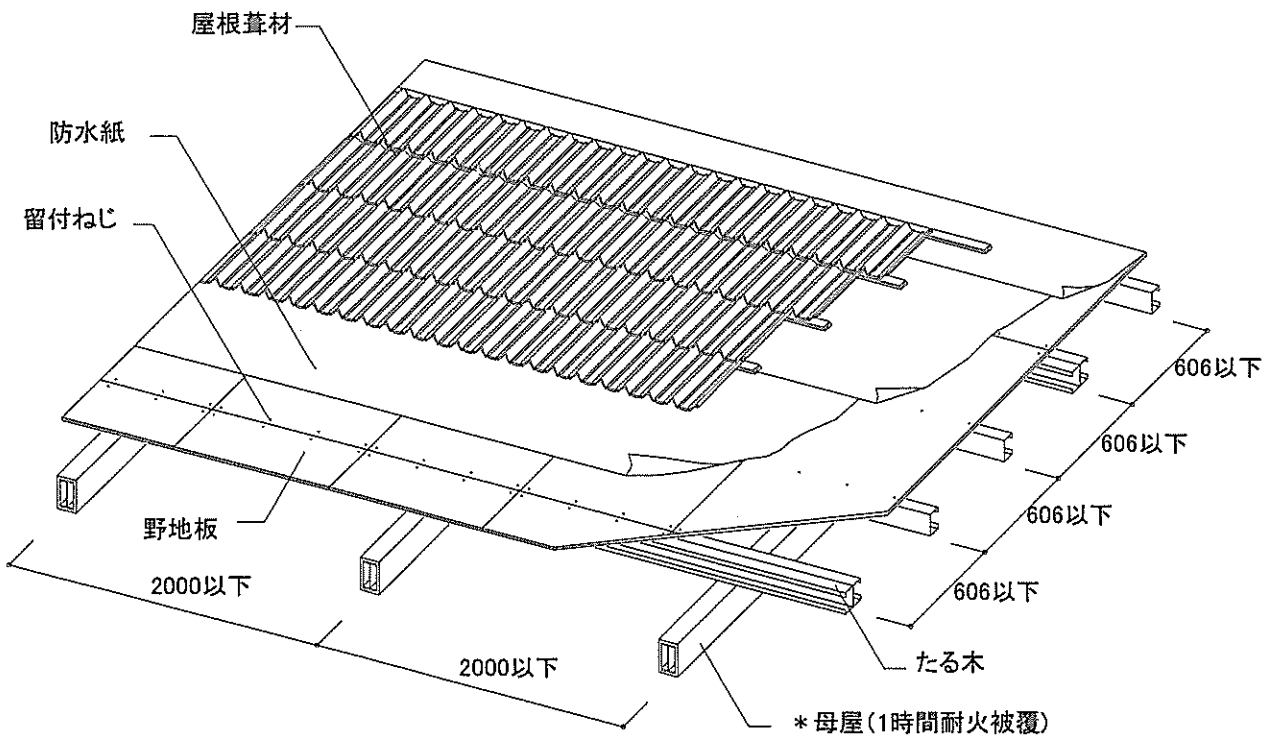
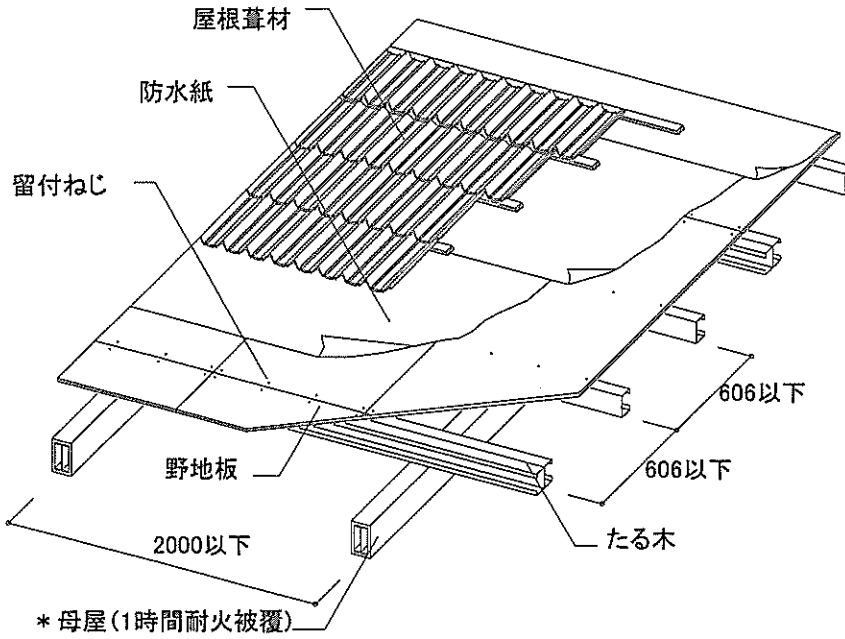
(寸法単位：mm)



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
 * :本評価内容に含まない

金属板の場合 (金属がわら葺)

(寸法単位: mm)

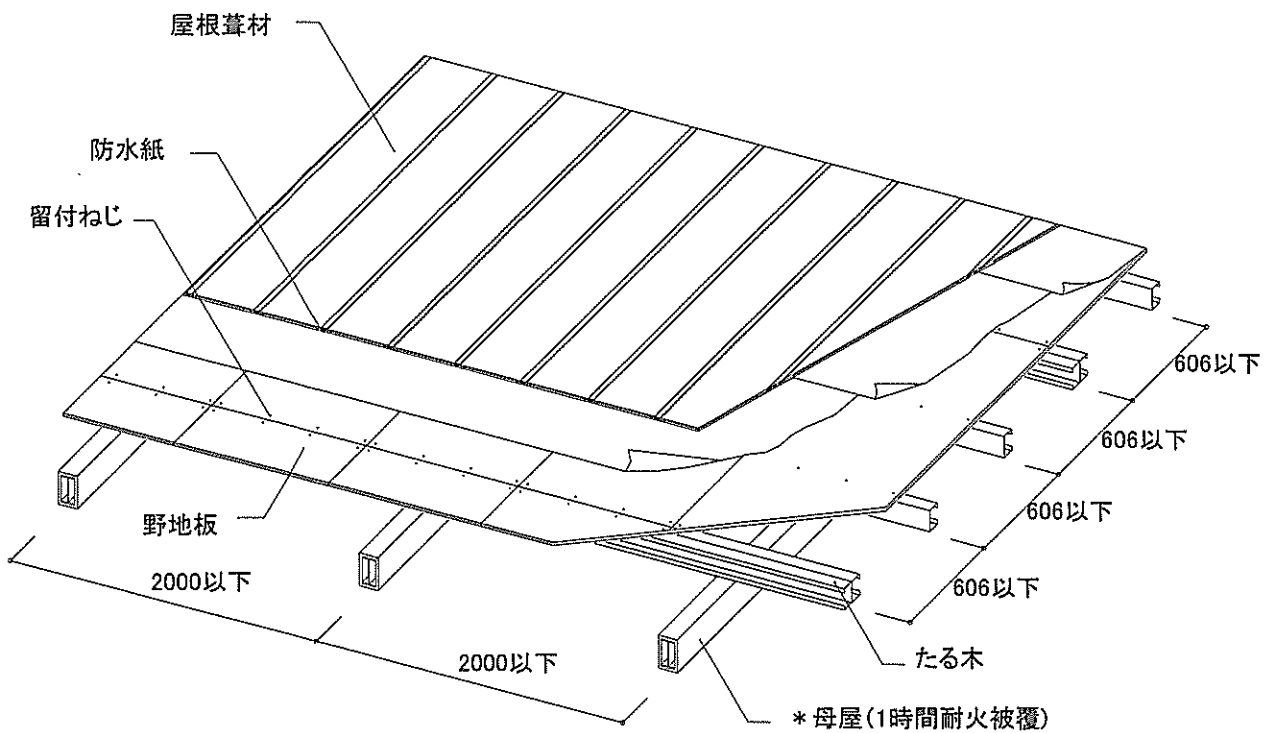
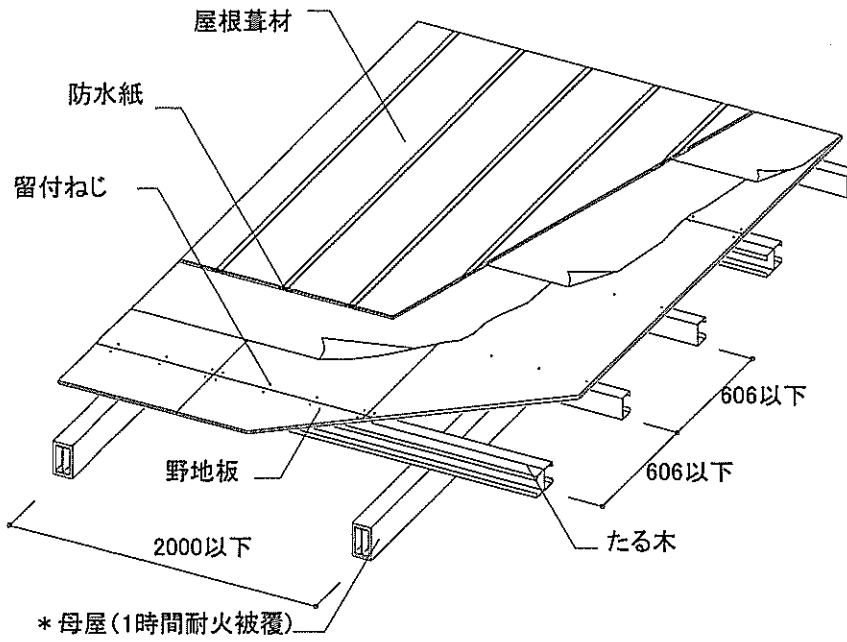


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (平滑葺)

(寸法単位: mm)



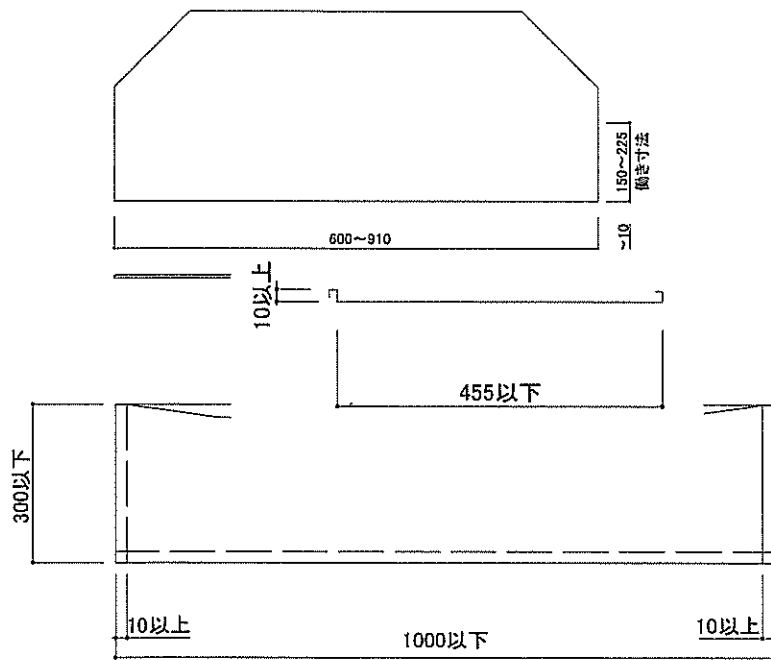
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*:本評価内容に含まない

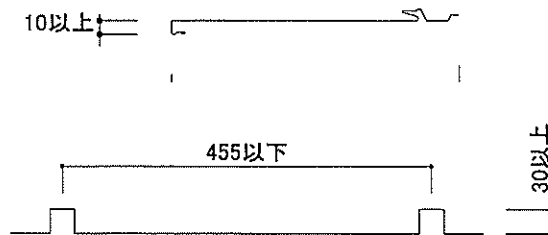
葺材形状

(寸法単位：mm)

平葺の場合

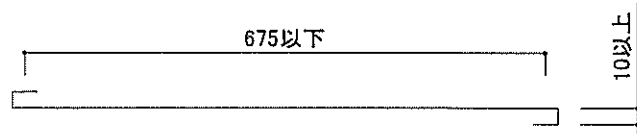


たて平葺の場合
かわら棒葺の場合
段葺の場合

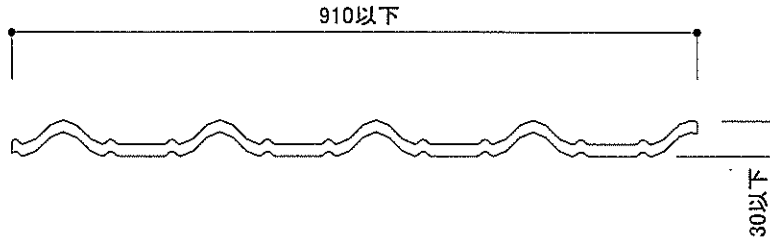


横葺の場合

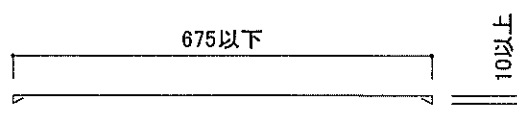
(寸法単位：mm)



金属がわら葺の場合



平滑葺の場合



<施工手順>

1) 下地工程：

- ・母屋は構造耐力上安全なものとし、耐火1時間の被覆を施す。ただし平成12年度建設省告示第1399号第4第三号二の規定に該当する場合には、耐火被覆をなくしてもよい。
- ・垂木の間隔は606mm以下とする。

2) 野地板の取付け：

- ・割付に従って、野地板を留付ねじで間隔303mm以下にたる木に留付ける。

3) 屋根仕上げ：

- ・野地板の上に防水紙を重代100mm以上にて葺き防水する。
- ・屋根葺材は、不燃材料で葺上げる。